

2025 年 11 月 19 日

エティハド航空、エアバスのワイドボディ機を拡充

エアバス（本社：仏トゥールーズ、最高経営責任者：ギヨム・フォーリ）は 18 日、エティハド航空が A330-900 を 6 機確定発注し、A330neo の新規顧客となったことを発表しました。さらに、エティハド航空は A350-1000 を 7 機追加発注（総発注数を 27 機に増加）し、A350F を 3 機追加発注（発注数を合計 10 機に増加）したことを明らかにしました。

発注契約はドバイ航空ショーで締結されました。エティハド航空はまた、アボロンからリースで A330-900 を 9 機導入することも発表しました。

A350 は世界最新のワイドボディ機で、最大 9,700 海里/18,000 キロメートルをノンストップで飛行することができ大陸間の空の旅に新たな基準を打ち立てました。最先端技術と最新の空力設計により優れた効率性と快適性を提供します。新世代のロールス・ロイスエンジンを搭載、軽量の最新素材を使用し、旧世代機と比較して燃費、運航コスト、CO₂ 排出量を 25%削減しています。

A350F はメインデッキに大型の貨物ドアを備え、胴体の長さや容量は業界標準のパレットおよびコンテナ貨物輸送に最適化されています。さらに、2027 年に施行される ICAO の CO₂ 排出基準にも対応する新世代貨物機です。現在、トゥールーズで試験機の最終組み立てが行われています。

最新世代のロールス・ロイス社製 Trent 7000 エンジンを搭載した A330neo は、最大 8,100 海里/15,000 キロをノンストップで飛行することができます。前世代の競合機と比較して、燃料消費量、CO₂ 排出量、運航コストを 25%削減します。受賞歴のある革新的客室「Airspace」を装備し、新しいレベルの快適性を提供します。

すべてのエアバス機と同様に、A330neo と A350 ファミリーは持続可能な航空燃料（SAF）を最大 50%使用して飛行することができます。エアバスは 2030 年までに全エアバスファミリー機で SAF を 100%使用した運航の実現を目指しています。2025 年 10 月末時点で A350 ファミリーは世界の 64 社から 1,400 機以上の受注を獲得。A330 ファミリーは世界中の 130 社以上の顧客から 1,900 機を超える受注があります。

Newsroom

リリースに関するお問い合わせ先：エアバス・ジャパン株式会社

Follow us



If you wish to update your preferences to Airbus Communications, media@airbus.com
If you no longer wish to receive communications from Airbus, media@airbus.com

藤宗宇多子
03-5775-0133
utako.fujiso@airbus.com

野坂孝博
03-5775-0129
takahiro.nosaka@airbus.com

Follow us



If you wish to update your preferences to Airbus Communications, media@airbus.com
If you no longer wish to receive communications from Airbus, media@airbus.com